



六中だより

文京区立第六中学校 校長 小椋 孝

<http://www.bunkyo-kyo.ed.jp/dairoku->

【教育目標】○責任を重んじる ○学習に励む ○健康なからだをつくる ○美しい生活を求める

◆◆◆ 令和2年度2学期がスタートしました ◆◆◆

感染症対策に伴う授業時数確保のために夏休みが23日間に短縮され、8月24日（月）から「新しい日常」のもとでの2学期の学校生活がスタートしました。猛暑日が続いていたところからは一段落したとはいえ、気温30℃を超える日々が続いています。感染症対策に加え、熱中症対策も必要です。自分が置かれている場面ごとに環境条件をとらえ、早めに予防対策を講じることが必要です。仲間と一緒にいるときはマスクの着用は欠かせませんが、周囲に人がいないときには外すなどして、新鮮な空気をたくさん体に取り込むようにしましょう。また、水分補給は水分が失われる前に補充するという考え方が効果的です。こまめに水分を口にするようにして、補うようにしましょう。さらに、栄養と休養のバランスも大事です。暑い中、食欲も減退しがちですが、しっかりと食事をして栄養をとるとともに、決まった時間に寝起きをするようにして、しっかりと睡眠時間を確保するようにしましょう。

24日（月）に行われた始業式では、久しぶりにそろった生徒の皆さんのきちんとした姿を目の当たりにして、とてもうれしい気持ちになりました。学期当初の校長からの話の要点は、次のとおりです。

- 感染症の見通しは不透明ですが、だからこそ一日一日を大事にするようにしましょう。
- 「新しい日常」の生活が続きますが、互いに気配りをしながら、集団生活の良さを実感し、成長に結び付けることができるようにしていきましょう。
- 何となく調子が出ない人もいることでしょう。焦らなくてもよいので、ゆっくりと順応できるようにしていきましょう。「つらい」とときには、がまんをしないで「つらい」と言ってください。
- 生徒の皆さんの力で、全員が過ごしやすい、全員が良い面を発揮できる六中になることを願っています。

このほかに、ボランティア部と保健委員のみなさんが生徒全員分のフェイスシールドを作成してくれたことに対して感謝の念を伝え、表彰状を贈るとともに、10月17日（土）に実施する予定の学習発表会において、文京区の特段のご配慮により午前中の舞台の部を「響きの森文京公会堂／シビック大ホール」で開催できることになったことにも触れましたが、この2点については、別のページに詳しく掲載していますので、そちらをご参照ください。

感染症予防をはじめとして、2学期も様々な面でご家庭のご協力をいただく場面が数多くあるかと存じますが、感染症対策を徹底した中で生徒の成長の場をつくれるように教育活動を工夫してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

◆◆◆ 区通知「2学期の教育活動について（抜粋）」 ◆◆◆

～ 令和2年8月20日 発行：文京区教育委員会 ～

文京区教育委員会より、2学期の教育活動について「文京区版学校感染症対策ガイドライン」に基づき、感染症対策の徹底を図るよう示されるとともに、具体的な留意点が挙げられましたのでお知らせします。本校では、これにしたがって教育活動を進めてまいりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。なお、今後の状況により、さらなる対応が必要となる場合も考えられますが、その際は速やかにお知らせするようにします。

1 全体を通じた留意点

- ・ 3密の回避、正しい手洗いを徹底するとともに、熱中症に配慮した上で必要に応じてマスク、フェイスガードを着用する。
- ・ 毎朝の検温、健康観察を実施する（保護者、学校来校者にも協力を再度要請）。
- ・ 登校時の健康チェック及び校舎に入る前のサーモグラフィーによる確認を実施する。

◆◆◆ 区通知「2学期の教育活動について（抜粋）」 ◆◆◆ 1ページめから続く

2 教育活動における感染症対策の徹底**(1) 授業等での感染症対策の徹底**

- ・ 教室等における密集を回避するため、1 mを目安に最大限の間隔をとる。
- ・ 30分に1回以上、換気を実施する。
- ・ 手指消毒用アルコールを設置する。

(2) 部活動について

- ・ 感染症及び熱中症対策を十分に講じるなど、生徒の安全を最優先する。
- ・ 対外試合等の実施については、各部活動の意義や目的に照らして慎重に判断する。
- ・ 部活動終了後は速やかに帰宅させる。

3 今後の行事等について

- ・ 引き続き学校全体への感染を防止するため、学年を越えた活動は原則避ける。
- ・ 実施する場合は、十分な感染症対策を実施する。

(1) 学校公開

- ・ 保護者が多数参観することが予想され、教室等での密の状態が避けられない場合は中止とする。
- ・ 公開する学年や保護者の人数を制限するなどの工夫をして実施することも考えられる。
- ・ 各学校の実態を踏まえて適切に対応する。

(2) 運動会及び文化的行事（音楽会・学芸会・学習発表会）

- ・ 例年どおりの実施は難しいが、学年を分散して、一度に会場に集まる人数を限定するなど、感染防止対策をした上で実施することも考えられる。
- ・ 来賓については、現在の感染症の状況を踏まえ、今年度は招待できないことを事前に周知する。

(3) 道徳授業地区公開講座

- ・ 学校公開と同様に保護者が多数参観することが予想され、教室等での密の状態が避けられない場合は中止とする。
- ・ その場合でも、例えば、自校の道徳教育の取組を学校だよりなどで保護者に知らせるなど、本来の道徳授業地区公開講座の趣旨に沿った工夫を行う。

(4) 遠足等の校外学習

- ・ 徒歩や借り上げバスなどを利用した活動については、感染症対策を講じた上で実施することも考えられる。
- ・ 公共交通機関を利用した活動は、当面の間は実施しない。
- ・ 社会科見学や体験学習等を実施する場合は、受け入れ先に対する安全面での配慮や感染症対策を徹底する。

(5) 宿泊を伴う校外学習

- ・ 現在の東京都の状況から、今年度については、以下のような対応とするが、当該学年の生徒の心情等に配慮し、各学校で丁寧な説明を行う。
- ・ 中学校については、1年生の移動教室は中止とし、来年度2年生で実施する予定とする。
- ・ 中学校3年生の修学旅行については、3月に実施予定とする。

(6) 調理実習など飲食を伴う活動

- ・ 飲食を伴う活動については、感染リスクが高いため、現在の感染状況が改善するまでの間は実施しない。

(7) 給食指導について

- ・ 配膳について、生徒が配膳する場合は、下痢、発熱、腹痛、嘔吐等の症状の有無、衛生的な服装をしているか、手指は確実に洗浄したかなど、給食当番活動が可能であるかを毎日点検し、適切ではないと認められる場合は給食当番を代えるなどの対応をする。
- ・ 引き続き、児童・生徒等が対面して喫食する形態を避け、会話を控えさせる。
- ・ 給食後の歯磨きを実施する場合は、3密を避けるようにする。

4 消毒について

- ・ 大勢がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は、1日に1回、水拭きした後、消毒液（消毒用エタノールや次亜塩素酸ナトリウム等）を浸した布巾やペーパータオルで拭くなどして、環境衛生を良好に保つ。
- ・ 床、机、椅子、トイレや洗面所は、通常の清掃活動の範囲で対応する。

◆◆◆ みんなのために フェイス・シールドづくり ◆◆◆



「感染症対策ガイドライン」では、授業等での感染症対策の徹底として、「教室等における密集を回避するため、1mを目安に最大限の間隔をとる」とされていますが、話し合い活動や実験・実習等の際には対面となることも考えられ、より有効な対策を講じることが求められます。対面となる際には、フェイス・シールドの使用が有効ですが、用意することが難しいと考えていましたが、この話を聞いたボランティア部と保健委員会が作成を引き受けてくれ、1学期末に生徒全員分のフェイス・シールドを手作りしてくれました。ボランティア部と保健委員会の皆さんのおかげで、2学期の活動の幅が広がります。合唱の練習にも有効活用できますので、作ってくれた皆さんに感謝しながら大事に使ってください。万が一、破損したり大きさが合わなかったりした場合は、養護教諭の木下先生に申し出てください。



◆◆◆ 「朝の体温チェック」セルフチェックにご協力ください ◆◆◆

毎朝、「3密」を避けるために分散登校を実施するとともに、家庭での検温に加えてサーモグラフィーによる体温チェックをしているところですが、部活動や学習発表会の朝練習が始まることを見ずして、モニターによるセルフチェック体制に移行することにしました。指定の位置でカメラの方を見るとモニター画面の額の部分に体温が表示されます。数値が緑色ならそのまま入ってください。黄色・赤色の場合は確認のために再度検温を行いますので、玄関付近にいる先生に声を掛けてください。なお、保護者の方のご来校の際にも同様の形で実施したいと存じますので、ご協力をお願い申し上げます。



※ 額の上の部分に体温が表示されます

◆◆◆ 10月17日（土）学習発表会の概要をお知らせします ◆◆◆

感染症対策を万全に行いながら、学校の教育活動を工夫していく必要がありますが、1学期末にお伝えしたとおり、今年度は学習発表会の内容を変更して午前中に「舞台の部」として音楽部門の内容を、また午後を「体育の部」として運動会の内容で実施可能なものを行うことにしました。

特に「3密」を避けるということで、舞台の部はアリーナにおいて学年入れ替え制で行うことも考えましたが、広い会場をということで文京シビック大ホールの借用をお願いしたところ、本来ならば学校単独行事ではお借りできませんが、「このような状況下で区立中学校の音楽振興に役立つのなら」と特段のご配慮をいただき、使用できることになりました。担当課である文京区アカデミー推進課並びに調整にご尽力いただいた教育委員会教育指導課の皆様から感謝を申し上げます。

今後の感染症の状況により不透明な部分もあり、直前まで検討すべき点もあります。詳しくは会場との打ち合わせの後にお知らせしますので、よろしくお願い申し上げます。

令和2年度 学習発表会（予定）

【午前中】舞台の部

◀会場／文京シビック大ホール▶

- 学校にて合唱練習
- 文京シビック大ホールに移動
- 合唱コンクール
- 吹奏楽部演奏

[学校へ移動、給食、更衣]

【午後】体育の部 ◀会場／本校校庭▶

- 100m走
- 学級対抗全員リレー
- 大縄跳び
- 全校ソーラン

◆◆◆ お願いとお知らせです ◆◆◆

1 今号の紙面の構成を変更しています

区通知「2学期の教育活動について（抜粋）」をA3判の大きさに広げて見開きで見ただけのようにするため、今号ではページ順を変更しています。いつもと異なる形で誠に恐縮ですが、ご承知おきいただけますようお願い申し上げます。

2 ボランティアに関する情報

(1) 東京ユースボランティア・バンクについて

東京都教育庁から「東京ユースボランティア・バンク」に関する周知の依頼がありました。学校や自宅等どこでもできるボランティア情報を提供しているとのことですので、興味のある方はご覧ください。

<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/volunteer>

(2) 東京ボランティアポータルサイトの「どこでも共助」特設コーナーの開設について

東京都生活文化局では、東京ボランティアポータルサイトでボランティア情報の提供発信を行っていますが、この度、新しい日常における共助として、「どこでも共助」特設コーナーが開設されました。「ボランティアマインド」の育成にかかる様々なコンテンツが掲載されていますので、興味のある方はご覧ください。

https://www.seikatubunka.metro.tokyo.lg.jp/chii_ki_tabunka/chii_ki_katsudo/kyouyo/0000000878.html

3 萩生田 光一 文部科学大臣からのメッセージ

新型コロナウイルス感染症に関する差別・偏見の防止に向けて、文部科学大臣からメッセージが発出されました。児童・生徒及び保護者・地域の方に向けたメッセージは、この中に折り込みましたのでぜひご一読ください。なお、参考資料として添付されていた相談窓口は下のとおりです。ご参考にしていただければ幸いです。

【参考資料】 文部科学省ホームページより作成

新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見などでつらい思いをしたら

児童・生徒等の皆さんの不安や悩みを受け止める相談窓口は、次のとおりです。一人で苦しまず、ぜひ利用してみてください。

- 24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1306988.htm
- 子どもの人権110番〈法務省〉 0120-007-110 <http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>
- 都道府県警察の少年相談窓口 <https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>
- いのちの電話の相談 0120-783-556
〈一般社団法人日本いのちの電話連盟〉 <https://www.inochinodenwa.org/>
- チャイルドライン（18歳までの子どもが対象） 0120-99-7777 <https://childline.or.jp/>
- 新型コロナこころの健康相談電話 050-3628-5672
一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人日本公認心理師協会
<http://www.jsccp.jp/info/infonews/detail?no=730>